

1. 訓練の目的

- (1) 住民参加型の訓練を通して白沢地区住民の防災に対する意識の高揚と知識の向上を図る。
- (2) 行政区や自主防災組織における役割の確認により地域の共助体制の強化を図る。
- (3) スモールステップ型の訓練実施により、次年度以降、地区単独で避難訓練を実施できるような仕組みづくりを推進する。

※白沢各地区の自主防災組織の設立も働きかける。

【訓練のテーマ】 **共に助け合い 誰一人取り残さない防災**

2. 訓練日程・実施会場

No.	地区名	訓練日	会場
1	稲沢地区	9月 1日 (日)	白沢公民館稲沢分館
2	松沢地区	11月17日 (日)	白沢公民館松沢分館
3	和田地区	11月24日 (日)	白沢公民館和田分館
4	糠沢地区	11月30日 (土)	白沢公民館糠沢分館
5	白岩地区	12月 8日 (日)	白沢公民館白岩分館
6	長屋地区	2月16日 (日)	白沢公民館長屋分館

3. 想定災害

大規模地震・土砂災害

4. 訓練の主な内容

- (1) **住民主体の避難訓練**
 - ・災害時の避難経路の確認
 - ・土砂災害警戒区域など危険個所の確認
 - ・行政区や自主防災組織による避難誘導、避難の声かけ
- (2) **情報伝達訓練**
 - ・行政区や自主防災組織の連絡体制の確認
 - ・防災行政無線、防災ラジオ、エリアメールを使用した避難指示の伝達
- (3) **避難所開設・運営訓練**
 - ・間仕切りパーテーション、段ボールベッドの組み立て
 - ・避難所受付
- (4) **炊き出し訓練**
 - ・身近な生活用品を使用した防災食の調理
(ポリ袋レシピなど)
- (5) **防災講座・「マイ避難」作成**
 - ・地域防災マネージャーによる防災講座の実施
 - ・「マイ避難」作成



5. 協力機関・団体

各地域振興会（地域づくり振興会）、各行政区、自主防災組織、南消防署、消防団地元分団、女性消防協力隊地元分隊、民生児童委員、白沢赤十字奉仕団

6. その他

- ・雨天時の対応
小雨決行とする。（防災講座など屋内実施も可能なため）
前日判断で台風接近など荒天の予報の場合は中止とする。